科學振興の爲に（上）

本年の科學界に望むもの

理學博士　藤岡由夫

事變は愈々第五年に入つて物資の問題は漸く深刻味を加へ來り、一方ドイツの電擊作戰の華々しかつた事にも眼をひかれて、近頃は科學の振興が刻下の急務として取り上げられて居る

人は本當に必要に迫られた時に最も眞面目に考慮するものであるから、此の際我國の科學の振興の方策も根本的に攻究すべきであると信ずる

科學の振興と言へば、科學者と技術者の一部に限られた問題の樣にも一應は考へられよう、併し實際は我國の科學を盛にする事は、決して科學者だけの力で出來る事ではない、全國民がその氣になつて、國民全般の科學的水準が高まつてこそ、科學の發達も期せられるのである

×　×

今日の時局に於いて科學を振興するのに何が一番必要であるかと言へば、それは勿論國家に重要な方面の研究を振興する事である、國防上或は産業上我國に必要と思はれる方面に技術者研究者を動員し、金も資材も集めて成果を促進する事は刻下の急務である、新聞紙の傳へる所によると、技術院科學院の設立が許可されて居る由であるが、之は此の樣な必要に應じての立案と信ずる

所が自ら必要な方面の科學の發達が、單に必要と思はれる事にだけ力を入れれば期せられるかと言へば、之は必らずしもさうは行かない、昔から科學の進歩が思ひがけない方面に應用を齎す例は澤山ある、近い例をとつても、雪の結晶の研究をして居る中にそれが上層大氣を測知する手段になつたり、電子の電荷を測る爲に鯨の油の試驗をして居る中に羊毛に代る纖維が得られたりした樣な事が澤山ある、尤もかういふ例を並べることは、まぐれ當りをねらふ感がするが、もつと本質的な意味に於いても、必要な科學を發達させる爲には基礎的科學の充實が急務である

基礎的研究の充實がなくて應用だけに力を入れる事は、宛かも[illegible]を培ないで働いてばかり居る樣なもので、一時はよくても決して永續きのしないものである

基礎的研究といふものはすぐには目に見える成果があがらないものであるから、今日の樣な時局の下ではうとんぜられ易いかもしれない、併し現在の我が國力を以てしたならば各方面の餘力を以てしても尚百年の後を目的とする研究を充實させるだけの力は、十分ある事と信ずる次第である

×　×

次に科學振興の爲に必要なのは科學教育の徹底である、科學教育を徹底させる事は、國民全般の智能の向上を生み、更にその結果は次の時代の國民の頭腦を益々優秀にするであらう、さうして國民全般の科學的頭腦が進んだならば、その中から優秀な研究も發明もどしどし生れて來るであらう

科學教育を如何に徹底させるかに就いては考ふべき事が多々あらう、私は先づ科學教育の成果は氣永に待たなければならぬ事を擧げたい、教育といふものは決して一朝一夕に出來上るものではなく、その成果の見られるのは程遠い、更に本當の成果は、科學的教育を受けたものが教育をする樣になつて、更に次代を創てこそ現はれるものであらう、大正の中頃科學教育の充實が叫ばれて全國の中等學校などに理化的設備が相當に整へられた事があつた、しかるにその後遂に體育偏重が稱へられて科學的方面の經費がけづられた爲に、折角の設備が持腐れになつた事もある由である、誠に殘念な事と思ふ

青年と新生活（上）

室伏高信

私自身はまだ青年だと思つてゐるし、少くとも夫はまだなつたのは昨日の事と思つてゐるのであるが、いつの間にかそこから遠くへと追放されてしまつてゐるやうである。

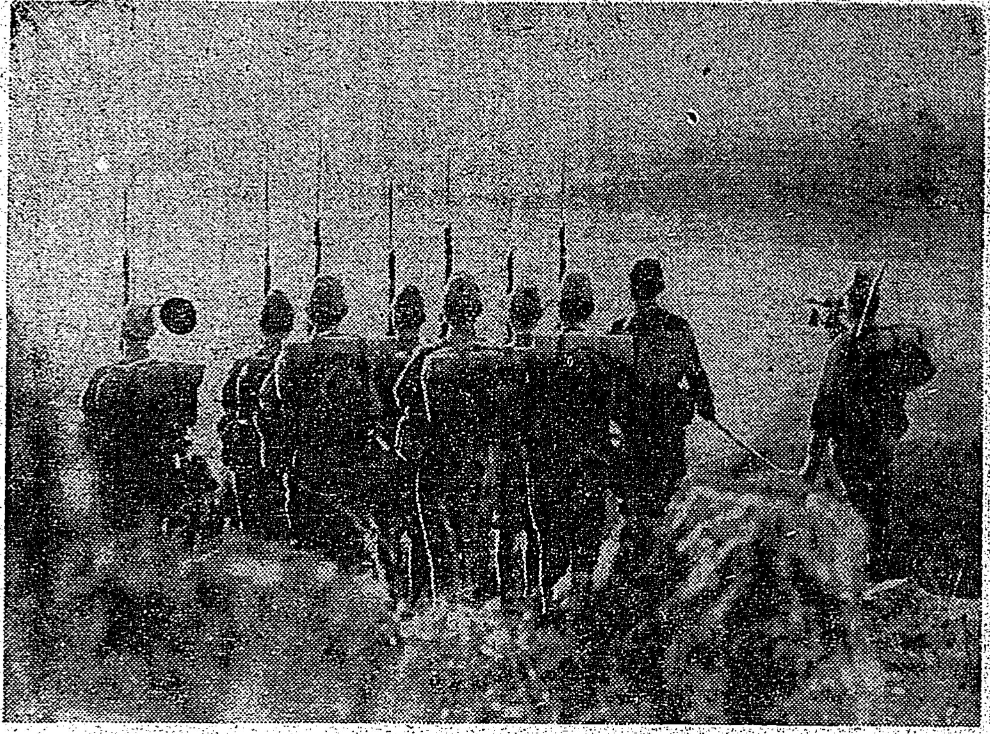
人生は室の中に飛びこんで來た燕のやうにどこから來てどこへゆくか知れないといはれる。或はいつやつて來ていつゐなくなるか分らないといふ言葉でこれをおきかへることもできよう。青年よ、壯年よといつてゐるうちに、成熟し老成し、避けがたい人生の終りがやつて來るであらう。

われわれはこの人生を意識すべきであり、常にその終るところを知り、また終るものであるといふ事を知つてゐなければならない。しかしそのゆゑに悲しむこともなく、惱むこともない。否、悲しみ惱むことは間違つてはゐない。悲哀は喜悦より深いし、惱みのうちからのみ人生の眞の意義は生れて來るであらう。しかしまたその悲しみも、惱みも解決されなければならない、それは解決への過程として行はれなければならない。これをどう解決してゆくか。どこに解決の途があるか。

私がここに新しい生活について語らうとするのは、この解決についての示唆を與へたいがためである。

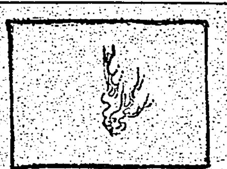
人生の惱みを惱むのは青年であり、これは青年の特徴である。成年期や老年期の人たちの惱みは多くは物質的なものであるか、地位や名譽かについてのものであり、その惱みは極めて淺薄なものであるが、青年期の惱みは人生の眞についてであり、生命そのものに內在するところのものである。たとへばそれが戀愛である場合においても、そこには生命がかけられてもゐるし、それ自身生命のリズムである。青年は常に生命のリズムのうちに生き、それゆゑに、生命の躍動のうちに自らの躍動を感じてもゐるが、またそのはかなさについても深い感傷をおぼえるのである。生命への憧憬が深ければ深いほど、それへの離別が深い哀愁によつて報いられるのである。

この惱みを哲學や宗教によつて解決しようとする企てがくりかへされて來た。宗教は人間の深みを語り、哲學は人間の特徴である。キリスト教も佛教も大きい影響を與へてゐるし、またギリシヤ以來の哲學が人生を豐富にしたといふことも爭へない。



大陸の元旦　宮城を遙拜する中支戰線〇〇部隊

三國志



（382）（出廬の卷）　吉川英治作　矢野橋村畫

油情燈心（二）

侍郎王子服は、董承の無二の親友であつた。

朝廷に仕へる身は、平常外出も自由でないが、その日、小暇を賜はつたので、日頃むつまじい、董承のやしきを訪れ、家族の中に交つて、終日、奧で遊んでゐた。

「御主人はどうしましたか」

夕方になつても、董承が顏を見せないので、王子服は、すこし不平さうにたづねた。

家族のひとりが答へて、

「奧にゐらつしやいますけれど、先日から調べ物があると仰つしやつて引籠つたきり、誰方にもお會ひしない事にしてをります」

と、云つた。

「それは惡だな。一體、何のお調べ事ですか」

「何をお調べなさるのか、私たちには分りませんが」

「さう根氣をつめては、お體にも毒でせう。小生が參つて、みんなと共に、今夜は笑ひ興じるやうにすゝめて來ませう」

「いけません、王子服樣、無斷で書齋へゆくと怒られますよ」

「怒つたつてかまひません。親友の小生が室を窺つたと云つて、まさか絶交もしやしないでせう」

自分の家も同樣にしてゐる王子服なので、家人の案內もまたず主人の書院の方へ獨りで通つて行つた。家族たちも、ちよつと困つた顏はしたものの、ほかならぬ主人の親友なので、晩餐の支度にまぎれたまゝ打捨てておいた。

主人の董承は、先頃から書院に閉ぢこもつたきり、何うしたら曹操の勢力を宮中から一掃することができるか。帝の御意中を安んじて御期待にこたへることができようか。朝念暮念、曹操を亡す計策に腐心して、今も、書几に倚つて思ひ沈んでゐた。

「……おや。居眠つてをられるのか？」

そつと、室を窺つた王子服は、そのまゝ彼のうしろに立つて、何を詩の下に抱いてゐるのかと、几の上をのぞいてみた。

血で書いた白絹の[illegible]うちに「朕」といふ文字が眼にうつつた王子服が、はつとしたとたんに、董承は、誰やら背後に人のゐる氣はいを感じて、何げなく振向いた

「あつ、君か」

びつくりしたやうに彼はあわてて几上の一文を袂の下に祕ひかくした。王は、それへ眼をとめながら、

「――何ですか、今のは？」

と鋭く追求した。

「いや、べつに……」

「たいさうお疲れのやうに、お見うけされますが」

「ちと、ここ每日、讀書に耽つてゐるのでな」

「孫子の書ですか」

「えつ？」

「おかくしなすつてもいけません、お顏色に出てゐます」

「いや、疲勞ぢやよ」

「さうでせう、御心勞もむりはない、まちがへば、朝門は壞へ、九族は滅され、天下の大亂ですからな」

「げつ……。君は、……君はいつたい何を[illegible]れるのぢや」

「國舅。もし小生が、曹操のところへ、訴人に出たら何うしますか」

「訴人に？」

「さうです、小生は今日まで、あなたとは骨肉の交はりを誓つて來たものとのみ思つてゐました――ところが、何ぞ知らん、あなたは小生に水くさい祕し事を抱いておいでになる」

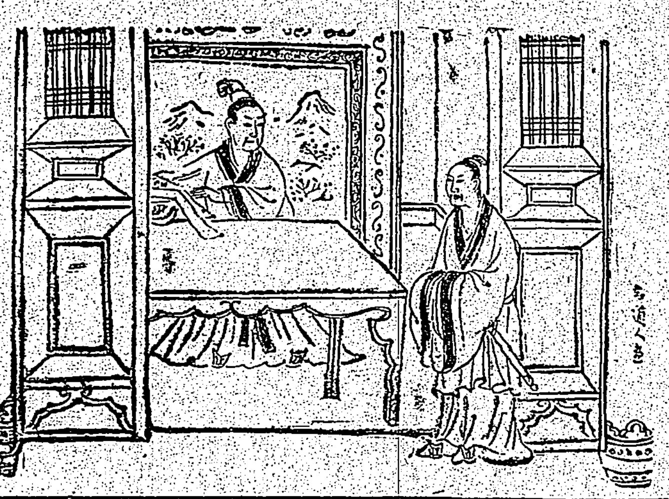
「………」

「無二の親友と信じて來たのは、小生だけのうぬ惚でした。訴人します。――曹操のところへ」

「あつ待給へ」

董承は、彼の袂をとらへ、眼に淚を泛めて云つた。

「もし御邊がそれがしの祕事を覺とつて、曹操へ訴へ出るなら、漢室は滅亡するほかない。君も累代漢室の御恩をかうむつた朝臣のひとりではないか……何んな[illegible]侍であらうと、友人への怒りは私怨である。君は、私怨のために、大義を忘れるやうな人ではなかつたはづだが」



謹賀興亞新年
皇紀二千六百一年

高雄　赤堀鐵吉

宗藤大陸

吉岡好治

高雄　杉原清三郎

中村一造

高雄興業株式會社　取締役社長　本地才一郎

竹林組　大野米次郎　高雄市湊町二ノ一六

高雄　陳啓貞

高雄州廳食堂　園員一同

高雄　上運天先次郎

陳啓峰　東京市赤坂區青山南町六丁目[illegible]番地　臺灣高雄州鳳山郡大寮庄

高雄　王沃

高雄州米穀商同業組合

保證責任　高雄州米穀信購販利組合

高雄合同運送株式會社　電話（一〇一・三二二・二四六・三〇四九番）

高雄市前金五七ノ四番地　高雄州自動車株式會社

高雄美容術營業組合

南日本化學工業株式會社　本社　高雄市堀江町一丁目六番地　電話（四〇〇・[illegible]番）　臺北出張所　臺北市本町四丁目二十番地　東京出張所　東京市麴町區大手町[illegible]　工場　高雄　電話四〇二五番　臺南　電話一四八六番

大阪商船株式會社　高雄支店

高雄州會議員
高雄市在住者（イロハ順）
本地才一郎
陳光燦
何傳
高本拾郎
武井羽二郎
平田末治
岡本雄一
松尾繁治
右田吉人

アルコール輸送株式會社　高雄營業所　高雄市湊町二丁目二十四番地

臺灣特殊窯業株式會社　電話三八一五番　高雄市鼓獅甲五〇八　出張所　臺北市大和町二ノ二一　電話七九一八番

高雄市[illegible]町一丁目十七番地　高雄製氷株式會社

高雄勞働需給組合

高雄旅館組合

高雄州清涼飲料水ラムネ統制組合　高雄市鹽埕町二ノ十二　組合長　川俣重孝

高雄州青果同業組合

鳥樹林製鹽株式會社　高雄州岡山郡　電話岡山五番　社長　陳啓川　專務取締役　陳啓[illegible]

高雄市前金五八六番地　高雄州自動車運輸株式會社

高雄市新濱町三丁目二十四番地　日本水產株式會社　高雄出張所

臺灣海運株式會社

專賣局高雄支局內　專賣團

高雄商工會議所

三井物產株式會社　高雄支店

臺灣高雄　株式會社　臺灣鐵工所

高雄市榮町二丁目十六番地　高雄州醬油工業組合　電話四二二一番

高雄市會議員
（イロハ順）
今井池潘陳陳李大王吉田中工楠眞船福天安蔡木宮庄檜森杉
井上尻坪井中藤田砂橋井野藤下川司垣本
佐財光啓膽炳佐天由崇精進
一增重長泰折卓次武四溫彥業九一秀三
郎喜雄源清亮雲森樂賞平作秀平哉郎雄磨四市禮一郎郎雄剛郎

高雄市新濱町三丁目四五番地　臺灣運輸株式會社

臺灣高雄市新濱町二丁目一〇番地　高雄魚市株式會社

材木商　株式會社　永森記商行　社長　林溫如　專務　蘇錦墩　本店　臺南市港町二丁目　電話五〇四番　支店　高雄市新濱町二丁目　電話二三〇四番

海陸運送業　勞力請負業　代理業　株式會社　日東商船組　臺灣高雄市新濱町一丁目一番地　電話代表番號3251（3252）（3253）（3254）（3255）

高雄醫會
井狩醫院
富田醫院
帖佐醫院
尾上醫院
大井內科
渡邊醫院
神田醫院
嘉數醫院
田中醫院
小出醫院
安田醫院
海老名醫院
島田醫院
（イロハ順）

營業種目
肥料
化學工業藥品（各種硫酸　アンモニア　其他）
溶劑各種
アークカーボン
包裝材料
日本窒素肥料株式會社製品　臺灣一手販賣
大正興業株式會社　高雄出張所　高雄市入船町三ノ三　電二三八一
大正興業株式會社　臺北出張所　臺北市表町　大阪商船ビル三階　電七三八二

臺灣セメント株式會社　本店　臺北市北門町七番地　工場　高雄市田町三丁目五番地　臺北市北門町七番地

淺野セメント株式會社　臺灣支店　出張所　高雄市田町三丁目五番地

港灣工業株式會社　臺灣出張所　臺灣高雄市山下町二丁目十二番地　電話二三四一番

日本アルミニウム株式會社

高雄市苓雅寮四一番地ノ八　臺灣合同鳳梨株式會社

高雄市榮町二丁目十六番地　高雄鐵工業組合　電話[illegible]

株式會社　安部幸商店　臺北支店　臺北市本町四丁目二七　高雄支店　高雄市新濱町一ノ六四

保證責任　東港漁業協同組合　電話三八番

東港魚市場　電話一〇五番

保證責任　琉球漁業協同組合　役職員一同

保證責任　佳林漁業協同組合役職員一同

東港郡林邊庄　林壁輝

東港郡守　德重種彥
東港郡庶務課長　佐保一人
同　勸業課長　齋藤守信
同　警察課長　鈴木榮太郎
東港街長　横山新作
林邊庄長　川畑清次
佳冬庄長　蕭恩鄉
新園庄長　手代木駒之助
萬丹庄長　生田目與七
琉球庄長　儀間正良

東京泰東書道院　日滿華三國書道教授　林又春

東港郡新園庄仙公廟　公醫　富士雅正

東港郡東港街　公醫　許白土

東港郡萬丹庄　張山鐘

林邊庄在公醫　醫學士　鄭吉慶　電話二七番

東港郡藥業組合　組合長　[illegible]

東港青果配給組合

高雄州商工組合聯合會　東港郡支會

東港街大潭新農事實行組合　役職員一同

東港街下廍農事實行組合

東港郡砂糖小賣商組合　組合長　施佳室　外組合員一同

東港郡美容術營業組合　組合長　林[illegible]春

東港水利組合

保證責任　東港信用販賣購買利用組合　役職員及組合員一同

保證責任　萬丹信用販賣購買利用組合　役職員一同

保證責任　佳冬信用販賣購買利用組合　役職員一同

保證責任　林邊信用購買販賣利用組合　組合長　阮朝吉　役職員一同

保證責任　溪州信用販賣購買利用組合　役職員一同

保證責任　新園信用購買販賣利用組合　組合長　陳[illegible]林

保證責任　琉球信用販賣購買利用組合　役職員一同

東港郡菓業特產加工同業組合　組合員一同

岡山郡守　波多野勇

岡山郡警察課長　石丸卯六
岡山郡庶務課長　高橋用吉
岡山郡勸業課長　細田健太郎

岡山郡下　小公學校長一同

彌陀庄長　八島善之進
岡山街長　齋藤善次郎
楠梓庄長　齋藤勝次
燕巢庄長　齊藤三喜
田寮庄長　朱萬成
湖內庄長　角田豐太
路竹庄長　久木元暑
阿蓮庄長　佐分利末熊

岡山興產自動車株式會社　專務取締役　[illegible]

印刷・製本・文具　一更新商店　電話七番

旗山街長　川野觀太平
美濃庄長　二木恩貴
杉林庄長　熊谷茂作
六龜庄長　柴田三郎
內門庄長　德丸增美
甲仙庄長　佐田雪馬

臺灣產業協會　高雄州支會　旗山郡分會

鳳山郡守　大塚國一郎

鳳山街　保證責任　鳳山信用購買販賣利用組合

鳳山街　高旗自動車株式會社　電話三八番

鳳山街字火房口　仁壽醫院　電話一五〇一番

屏東市本町二丁目十九番地　有限責任　屏東信用組合　電話五五番

屏東市黑金町一丁目五四番地　屏東信託株式會社

屏東市本町二丁目一一番地　臺灣南部無盡株式會社　屏東支店　電話三七番　支店長　升島戶野一

臺灣酒類賣捌人組合屏東支部

臺灣煙草賣捌人組合屏東支部

保證責任　屏東興農信用購買販賣利用組合　電話長四二三番

屏東驛運送業組合員一同

屏東市黑金町三丁目一〇番地　屏東貸切自動車株式會社

屏東市黑金町　昭和自動車合資會社

屏東自動車合資會社　代表者　郭[illegible]

北港郡守　林彌輔

北港街長　佐々木高景

北港朝天宮務所

蔡裕斛合名會社　北港劇場　電話二三番

口湖庄役場職員一同

北港郡獸肉營業組合　役職員一同

北港郡料理屋營業組合　組合長　[illegible]

保證責任　北港信用組合

保證責任　四湖庄信用販賣購買利用組合　役職員一同

水林庄信用販賣購買利用組合　役職員一同

公醫　早坂直治　北港街九三二

自動車用品商　愛國モーター商會　北港　電話五八番

北港驛前　金集發運送店　電話四七番

鐵工　大有商店　北港　電話六二番

北港製氷公司

北港　顏木杞

北港　蘇玉崑